

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ(ガーデンヒルズ迎賓館 松本))

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (※などの取得証証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
						1 169	2 169	3 169	4 169	5 169	6 169	7 169	8 169	9 169	10 169	11 169	12 169	13 169	14 169	15 169	16 169	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・全社対象にDE&の推進をしている(定期配付動画、eラーニング、社内報、コンプライアンス朝礼) ・第三者機関に繋がる相談窓口を設置し社内周知している					5.1 5.5 5.c			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・全社員対象にハラスメントに関する研修を実施している(eラーニング、コンプライアンス朝礼) ・第三者機関に繋がる相談窓口を設置し社内周知している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8			16.1						
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・リスク管理委員会が長時間労働者を把握し、業務改善指導を行っている ・長時間勤務防止のため、労務が半月単位で勤務実績入力状況を確認し入力の啓蒙を行うことで、個人の勤務管理能力の向上を促している							8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・業務特性上、現在の外国人籍人材の雇用比率は0.005%未満であるが、採用、評価、福利厚生、就労環境に於いて他社員と同様の措置を講じており、待遇差別や人権侵害は生じていない			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・労働災害の防止及び職場環境改善のため「労働安全衛生委員会」を設置している ・安全、衛生管理マニュアルがある		3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年1回、全社員対象にストレスチェックを実施している ・弊社産業医面談のみならず、総合福利厚生サービス内にオンラインカウンセリングが可能な体制を整えている		3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・DE&に関する様々なテーマで学べる全社員視聴可能なオンラインセミナー(動画の提供) ・「男性育児」「LGBTQ+」「マタニティ」「介護」等様々なテーマに関する情報・意見交換を行う社内コミュニティの運営 ■DBI Award 2024の「アビリティ」認定 ・女性活躍推進 女性特有の健康課題サポート制度「Femself BOX」;オンラインビル地方と購入時の費用半額補助、母子連帯費用補助、AHP検査無料受診、健康課題相談窓口等 ■「えんふ」認定の「2つ」認定 ・障がい者支援の取り組み 「重度知的障がい」者を中心に直接雇用し、雇用率は法定雇用率(2.5%)を超える3.43% ・国際協力機構(JICA)からの視察受け入れ実績のある武蔵の連携業務を担うT&Gソーシャルファームを展開 ■「障害者雇用エクセル・カンパニー賞」東京都知事賞受賞 ・LGBTQ+支援の取り組み 「LGBTQ+和食ダイバーシティ」理事・村木真紀氏の社外取締役就任(同性カップルとその子どもを家族として福利厚生の対象とする「パートナーシップ宣言制度」) ・全社員対象のeラーニングと理解度テスト実施 LGBTQ+アライスタッチャーの発着 ■DBI Award 2024の「アビリティ」認定 ・副業制度、社外留職制度(当社に在籍したまま他社へ赴任しその会社の業務を担う)、担当者指名制度を導入している ・社員1人につき年間8万円の成長支援手当がある ・職種別、階級別に設けた130以上のコンテンツをいつでも学べるオンライン研修がある					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3									
【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・同一労働、同一賃金等の原則に沿って対応している			4	5.5				8	9									
【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・同一労働、同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5	10.2 10.3									
環境	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康診断受診時、費用補助することでオプション受診を促進している ・動画学習システム「Cradle」を導入しており、医療機関・専門家によるヘルスケア(生活習慣病・女性特有の健康課題・更年期などの予防や対策)をテーマにした動画をいつでも受講できる環境を整えている ・福利厚生サービス「ベネフィットワン」を導入しており、健康維持・促進支援サービスを割引価格で受けられる環境を整えている		3					8										
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物は回収会社に依頼をし、適切に処理している ・環境省エコファースト認定されている企業と契約をしており、マニフェストのみならず、廃棄物のトレーサビリティの詳細が確認できる報告書を提出いただき廃棄物処理管理を徹底している									11.6 12.4	14.1							
環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・自社のエネルギー使用量を把握している ・再生可能エネルギー比率100%の電気を選択している電力会社と契約している							7.3			13							
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・scope1(燃料の燃焼による自社が直接排出した温室効果ガス)及びscope2(自社が購入・使用した電力、熱などのエネルギー起源の生産による間接排出した温室効果ガス)の排出量を把握している ・排出量に対する削減目標を設定しており、定期的なモニタリングを実施し、その結果を公表している							7.2 7.3			12.4 13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・フロン排出抑制法に伴い、法令点検を行っている			3.9			6.3				11.6 12.4							

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記 載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・自社の挙式会場をリニューアルする際、古材やベッ トル再生生地、廃材を使用している ・フードロス削減のため、なるべく廃棄食材がでないよ うなメニュー設計をしている ・フラワーロス削減のため、結婚式後のお花をキャンド ルやプリザーブドフラワーとして残せる商品を販売してい る ・日本財団主催のごみ拾いとスポーツが融合した日本 発祥スポーツ「スポGOM」に参加し、海洋プラスチック 汚染について考えるきっかけを得ている							6.6								15		
6	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・廃棄物削減のため、アップサイクルを積極的に行っ ている → 廃油の燃料化(SAF)、アップサイクルドレス、アップサ イクルサシェ ・会場リニューアルの際に、古材や解体時に出た廃材を 使用している ・自社会場披露宴にて出たワインコルクを回収し、リサイ クル企業に提供している。出来上がったコルク製品は 社内備品として使用している（コースター、ナイフホル ダーなど） ・紙のリサイクルを行うプロジェクトに参画している (PELPI)												12.5		14.1			
7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレ ンジ			・会場の水道に節水型水栓を設置するなどして、使用 量を削減している ・水道使用量を把握・記録したうえで、削減目標を設 定、周知している							6.4 6.6										
8	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得してい る	チャレ ンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレ ンジ			・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、企業 サイトのサステナビリティページ、決算資料、有価証券 報告書にて開示を行っている												12.6					
10	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレ ンジ			・再生可能エネルギー比率100%の電気を選択してい る電力会社と契約している						7.2							13				
11	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレ ンジ			・GHP空調機の排熱を利用し、発電するコージェネレー ションシステムを導入している												12.2	13	14	15		
12	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・部門長に向け贈収賄、不正競争に関する勉強会を顧 問弁護士、社労士より実施している																16 16.5	
13	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・適正な取引を監視、管理すべく、決裁権限規定を設 け、ワークフローシステムを利用し、全社員が社内決裁 フローを遵守している																16	
14	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・社員のリテラシー向上のためe-ラーニングを実施して いる							8.2 8.3	9									
15	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報保護法に基づき、適切な管理方法に関する 研修を定期的に行っている ・情報セキュリティ対策の実施、専門部署が見直しを常 時行っている ・年間監査スケジュールに則り、内部監査部が全店舗 の管理状態の調査、指導を実施。毎月部門長会議に て監査報告をしている																16	
16	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレ ンジ	【非該当】		・事業特性上、紛争鉱物の取り扱いはない																16	
17	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレ ンジ			・全取引先にお集まりいただき総会を実施（オンライン同 時開催） 年度経営方針の共有と共に、倫理面での適切な対応 についての認識の共有、相互コミュニケーションの実施 をしている					5		8		10			12	13	14	15	16	17
18	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【非該当】		パートナーシップ構築宣言を作成・公表していないが、 パートナーシップ構築宣言の趣旨にある、「取引先との 共栄・共存を目指すし、誠実で適正な取引慣行の実現 に際し努めている」 ・サプライチェーン全体の付加価値増大と、新たな連携 →IT実装、BCP策定、異業種との共創 ・親事業者と下請事業者の望ましい取引慣行 →適正な取引を監視・管理するワークフローシステム、 総会での相互コミュニケーション、eラーニングでの社内					3			8	9	10							17

チェック項目		取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (※など取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品 サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・お取引先と半期に1回、専用の評価項目を設定し、それに沿って評価面談を行っている ・安全衛生委員会を年12回開催、また衛生管理の徹底(店舗臨店、現場スタッフに向けた勉強会)を行っている				3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・お取引先と半期に1度、専用の評価項目を設定し、それに沿って評価面談を行っている ・CX推進部主導で各お打合せ毎にお客様アンケートを回収しており、各店舗のみならず本社各関係部署に共有され、連携し、お客様の意見を参考に商品やオペレーションの開発に努めている								9										
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・廃棄予定のドレスを使ったアップサイクルドレスを作成し、レンタル販売している ・フードロス削減のため、なるべく廃棄食材がでないようなメニュー設計をしている ・フラワーロス削減のため、結婚式後のお花をキャンドルやプリザーブドフラワーとして残せる商品を販売している						6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・子どもの情報格差、教育格差の社会問題を解消し、子どもの未来の選択肢を広げるためのイベント(こどもテックキャラバン)をスポンサー企業として企画運営・展開している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会 貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・結婚式で提供するワインを段階的に100%国産化する取り組みを進めている ・地元の食材を仕入れて料理メニューに取り入れるなど、地産地消に取り組んでいる ・ママ向けイベントFun Fen Fantやサマーパーティーなど、挙式済みのお客様以外の方にも開けたイベントを行い、地域住民の方々にも会場を知ってもらう機会を創出している					4				9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			【寄付】 ・セブン銀行と共創し、ご祝儀ATM送金サービス『つつむと』を開発、利用に伴いカップルが選択した『WWF ジャパン環境保全活動募金』『日本財団「夢の貯金箱」』のいずれかの団体に寄付を実施している。 【社会貢献活動】 ・地域の小学生を対象に、食育体験・仕事体験を提供する「T&Gキッズプロジェクト」を実施している ・異業種の企業・団体と共にスポンサー企業として、子どもの将来の選択肢を広げるイベント「こどもテックキャラバン」を運営・展開している					4						11				14	15		17
組織 体制	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・結婚式で提供するワインを段階的に100%国産化する取り組みを進めている ・地元の食材を仕入れて料理メニューに取り入れるなど、地産地消に取り組んでいる ・理念ポスターの掲示や理念ブックの配布をすることにより社員に共有、理解促進をしている ・期初開催の社員総会で年度経営目標の共有を実施している ・月初に全社朝礼をオンラインで実施し、理念に基づいた取り組みを発表している								8	9		11	12	13					
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本											8	9								17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・法令遵守について、定期的にe-ラーニングを実施している ・不正行為の防止と早期発見のため内部通報制度を整備している ・事業上のリスクを抽出し、発生を未然に防ぐためリスク管理委員会を設置している																	16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			サステナビリティ推進室を設置し、「環境負荷軽減」「業界人材のwell-being支援」「地域貢献」の3つのマテリアリティに沿った取組みを推進している																	16	
組織 体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・株主総会の開催、HPでのIRニュースの発信、投資家との対話を行っている ・挙式済み顧客に対して、サステナビリティに関する意識調査を実施している ・従業員向けに、サステナビリティに関する意識調査を実施し、会社と社員の双方向のコミュニケーションをとっている																16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・労働災害の防止及び職場環境改善のため「労働安全衛生委員会」を設置している ・安全、衛生管理マニュアルがある ・事業所地域で災害が発生した場合の危機管理体制を整えている(ハザードマップ作成、防災用品の備蓄、年2回避難訓練の実施)																16		
	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・地域貢献のため、地域住民の方が参加できるイベントを定期的に開催している(ママ向けマルシェイベント、子ども向け体験イベント等) ・環境負荷軽減のため廃棄物を削減する商品を作成している(廃棄予定のドレスを使ったアップサイクルドレス、フードロスを減らすメニュー設計、結婚式後のお花をキャンドルやプリザーブドフラワーとして残せる商品等)																	16	
組織 体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・年2回、店舗が結婚式の施行をしている想定で取引先も含めた避難訓練を実施し、実際の状況を想定し、避難誘導の強化を図っている ・事業所地域で災害が発生した場合の危機管理体制を整えている(ハザードマップ作成、防災用品の備蓄、実際の避難経路、避難にかかる所要時間を確認しながらオンラインで全国を繋ぎながら避難訓練の実施)								9		11		13 13.1				16		
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・経営者育成のため、役員・執行役員向けに経営者育成コンサルタント(外部)を招いて研修を行っている								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【未来世代の教育】 未就学児から大学生の若い世代に対して、持続可能な社会について考え、学ぶきっかけをイベントを通して提供している。		・大学のSDGsパートナー制度に登録し、学生との交流会を通して情報交換・意見交換を行っている。 また、SDGsパートナー制度で交流を深めた学生たちと、LGBTQ+理解促進に関するイベントや、子供向けのSDGsに関する講話やワークショップを行う等のサステナビリティイベントを共創、実施している。 ・廃棄予定のドレス生地と廃棄予定の石鹸・ロスフラワーを使用した“サシェ(芳香袋)作り”。や、廃棄予定の亚克力板・廃棄予定のグラス収納ラックを素材化したものを原料とする“グラスサンドアート作り”。等のワークショップを通して、子どもにSDGsや持続可能な社会を考えるきっかけとなるイベントを開催している																	17
【学生起業家のスタートアップ支援】 学生起業家の認知向上、活動機会の提供をしている。		当社がスポンサー企業として企画運営する子どもの未来の選択肢を広げるためのイベント(こどもテックキャラバン)の一部を学生起業家に企画・進行してもらい、学生起業家の認知向上、活動機会の提供をしている。																	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエコセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定